

科目名	栄養学実習						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	1	1年次	後期			
担当者名	城野 世津子 山下 晋平		関連する資格	栄養士免許 必修			
授業概要 ヒトの一生における各ライフステージに適合した栄養について理解し、健康の保持・増進と疾病予防のための食生活のあり方を食事として具現していく方法について学習する。 栄養学総論・各論の教科で学んだ知識を基本に、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期のそれぞれの対象にふさわしい食事・栄養のあり方を実習・演習を通して学ぶ。							
到達目標 ・日本人の食事摂取基準を理解し、活用ができる ・各ライフステージに適合した栄養について理解する ・対象者に応じた食事の提供ができる			成績評価方法 定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		10
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 各ライフステージの栄養についての概要 食習慣調査の実施、日本人の食事摂取基準 2015				小テスト			
2) 乳児期の栄養 人工栄養法について（調整粉乳の成分比較）							
3) 乳児期の栄養 調乳（実習）							
4) 離乳期の栄養 乳児の摂食機能について							
5) 離乳期の栄養 離乳食（実習）、ベビーフード							

6) 幼児期の栄養	
幼児食、保育所給食について	
7) 幼児期の栄養	
実習まとめ、プレゼンテーション	
8) 成人期の栄養	
食習慣調査の結果分析、栄養ケアプログラムの理解	
9) 成人期の栄養	
栄養ケアプログラム作成	
10) 高齢期の栄養	
高齢期の特性、老化による機能低下と食事	
11) 高齢期の栄養	
軟菜食（実習）	
12) 高齢期の栄養	
実習まとめ、プレゼンテーション	
13) 青年期の栄養	
課題発表	
14) 青年期の栄養	
課題発表	
15) まとめ	
授業外学習	
授業内容について関連科目も含めた予習・復習を継続すること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「新編応用栄養学実習」（学建書院） 「日本人の食事摂取基準（2015年版）」菱田明・佐々木敏監修（第一出版）	栄養学各論、栄養学総論、調理学実習
備考	